

学位被授与者氏名	伊東 良輔 (いとう りょうすけ)
論文題目	中途視覚障害者支援における相談援助の意義と役割 ～情緒的ニーズに配慮した援助の在り方の検討～
論文審査結果の要旨	<p>当該論文の評価点は、中途視覚障害者を対象とした、社会参加を目的とする社会福祉援助のあり方の見直しに資する研究であることである。</p> <p>障害受容については、多くの研究者が様々な理論を展開しているが、中途視覚障害者については、専門的に論じていない。そのため当該論文では、受障後、短期間で就労を果たした事例を分析し、障害受容を促進した援助のあり方について論じている。</p> <p>当該論文において重要な成果は、途中で障害を受けた初期から、当事者の情緒的ニーズを受容、共感し、そのことを通して当事者の精神的なサポートを図り、相談援助に繋げていくという試みを研究対象とした点にある。</p> <p>これまでの障害福祉領域における相談支援や、生活訓練においては、当事者の情緒的ニーズを顧みることなく取り込まれる傾向が強く、当事者の不安や怖れ、怒りや悲しみは支援に関する負の要因として無視ないしは軽視されてきたといえよう。</p> <p>しかしながら当該論文の情緒的ニーズへ着目した支援のあり方は、当事者が主体的かつ目的意識的に訓練に取り組み、自らの価値を転換するための欠かすことのできない要因として情緒的ニーズを認識し、負の要因を受容し、共感することを通して、意図的に当事者の精神的支援をおこなう意義について事例分析を通して明らかにしたことにある。</p> <p>平成 26 年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>